

アジャイルプロジェクトマネジメント基礎研修

オンライン開催のご案内

今般、協会主催にて表題研修をオンラインにて開催いたします。

本講座では、これからアジャイル開発に挑むマネジャーの方々を対象として、アジャイルソフトウェア開発の基礎と、ウォーターフォール型の開発のマネジメントとの違いについて学びます。またアジャイルプロジェクトをマネジメントする上で重要な課題とプロジェクトを円滑に計画、管理および実施する方法を学びます。

是非、この機会にご活用ください。

記

- ◆ 研 修 名： アジャイルプロジェクトマネジメント基礎研修
- ◆ 対 象： Zoom（カメラ必須）、OneDrive、Slack を併用した研修に参加できる方で、アジャイル型とウォーターフォール型のプロジェクトマネジメントの違いに関心のある方、これからアジャイルの考え方を導入検討されているマネジャー、PM、メンバーの方。
(MISA 会員/非会員は不問)
- ◆ 日 時： 2021年10月14日（木） 9：30～17：30（7時間×1日）
- ◆ 実施方法： ZOOM によるオンライン形式。（詳細は裏面参照）
- ◆ 受 講 料： MISA 正会員：19,800 円/MISA 賛助会員および特別会員：23,100 円/
一般：26,400 円（いずれも消費税10%・テキスト代込み）
※申込締切後、MISA 事務局より参加費用振込みのご案内を致しますので、
案内に従って指定口座へお振込みください。
- ◆ 申 込 先： Web 申込フォーム、または申込書を E-mail または FAX でお送りください。
Web 申込：<http://www.misa.or.jp/?p=15332>
MISA 事務局 E-mail：misa@misa.or.jp FAX：022-217-3055
- ◆ 定 員： 20 名
- ◆ 申込締切： 9月29日（水）
- ◆ 問合せ先： ○（株）アイテック 徳 琢磨（MISA 人財委員会－育成G）
E-mail：takuma_toku@itec.co.jp TEL：03-6824-9007
○（公財）仙台市産業振興事業団 及川 公司（MISA 人財委員会－育成G）
E-mail：itsuishin@siip.city.sendai.jp TEL：022-724-1125

<オンライン開催にあたっての注意点・お願い>

1. ご用意いただくもの

- PC (Web カメラ必須)・イヤホンマイク等、受講に必要な機材。
- 複数ディスプレイの使用を推奨します。
- 安定したインターネット回線 (通信料含む)。
- 使用予定ツール : ZOOM (チャット除く)、Slack、OneDrive、Office ソフト。
ブラウザ版でもかまいません。
研修中、ZOOM や Slack の操作説明は原則として行いません。ご了承ください。

2. 受講場所

- 自社・自宅など、指定はございません。
- 自社会議室などに集まって受講される場合でも、各人が ZOOM 接続してください。
- ヘッドセット等を使用しても近くの方の音声を拾ってしまう場合がございますので、
ご注意ください。

3. ZOOM について

- 画面共有 (講師・受講者双方) のほか、ブレイクアウトセッションを使用します。
- 研修の質を高めるため、カメラは必須といたします。(休憩時、一時離席時を除く)
- チャット機能は使用しません。

4. OneDrive および Slack について

- 事前および当日講義中の連絡、研修資料の事前配布、演習中のファイル共有などに使用します。
- 研修 1 週間前までに、OneDrive および Slack ワークスペースへのリンクを窓口ご担当者様あてにメール送信しますので、受講者様へ展開をお願いします。
- 受講者様各自で、Slack への参加登録等を行ってください。

(参考) ①ZOOM 接続要件 (ZOOM ヘルプセンター)

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-Mac-Linux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6>

②Slack ヘルプセンター

<https://slack.com/intl/ja-jp/help/categories/360000049043>

MISA (一般社団法人宮城県情報サービス産業協会)

アジャイルプロジェクトマネジメント基礎研修

カリキュラム

これからアジャイル開発に挑むマネジャーの方々を対象として、アジャイルソフトウェア開発の基礎と、ウォーターフォール型の開発のマネジメントとの違いについて学びます。またアジャイルプロジェクトをマネジメントする上で重要な課題とプロジェクトを円滑に計画、管理および実施する方法を学びます。

日 程	2021年10月14日(木) 1日間 9:30~17:30
対 象	Zoom(カメラ必須)、OneDrive、Slackを併用した研修に参加できる方で、 ・アジャイル型とウォーターフォール型のプロジェクトマネジメントの違いに関心のある方 ・これからアジャイルの考え方を導入検討されているマネジャー、PM、メンバーの方 ※MISA会員/非会員は問いません。
前提知識	・特になし
効 果	1. アジャイルプロジェクト手法を理解する。 2. アジャイルプロジェクトマネジメントプロセスを理解する。 3. アジャイルプロジェクトマネジメントに必要な契約その他の知識を習得する。
カリキュラム	<p>1. アジャイルプロジェクトマネジメントとは</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) アジャイル手法への誤解 2) アジャイルの特徴と導入のメリット 3) アジャイル 4) アジャイルを適用できる分野と適用しにくい分野 <p>2. プロジェクト手法の種類とアジャイル手法の理解</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ウォーターフォールとスパイラル 2) XP 3) スクラム <p>3. ウォーターフォール型とアジャイルのマネジメントの違い</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) WF型プロジェクトマネジメントとアジャイルプロジェクトマネジメントの違い 2) PMBOKとの関係 3) アジャイルプロジェクトマネジメントプロセス <p>4. アジャイル環境下における課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 組織との親和性 2) プロダクトバックログの管理 3) タイムボックスの管理 4) アジャイル手法の選択と標準化 5) アジャイルに適した契約 <p>■まとめ</p>

◆ 講師プロフィール

吉原 幸伸 (よしはら ゆきのぶ)

株式会社アイテック

<https://www.itec.co.jp/>

- 日本デジタルイクイップメント株式会社（日本 DEC：現存続会社ヒューレット・パッカードエンタープライズ社）の社内教育部門にて、社内の人材育成に従事する。
- その後スピンアウトして、Schick Technologies（ニューヨーク）にて各種デバイスやアプリの開発に従事する。帰国後はサンマイクロシステムズ社では Developer リレーション部門にて Java 開発者向けの支援を行う。
- 上記と並行して各種教育にも従事する。特に大手通信インフラ会社、大手 Sler、大手 Web メディアの人材育成には、新人・旧人向け問わず、長期間リピートを頂いている。
- 各種メディア系の Web に強く、現時点でも大手 Web メディア、大手出版社の Web とスマートデバイスを中心としたメディア展開のプロデューサー兼開発マネージャーとして従事している。

以上

アジャイルプロジェクトマネジメント基礎研修

申込書

開催日： 2021年10月14日（木）

会社名 _____

住所 〒 _____

申込窓口担当者 _____

担当者所属・役職 _____

Tel. _____

E-mail. _____

参加者欄			
氏名	所属	役職	経験年数 (半角数字)
(フリガナ)			年
(フリガナ)			年
(フリガナ)			年
(特記事項、要望など)			

<注意事項>

- ・ 経験年数は、社会人経験年数のおおよそを記入してください。
- ・ 請求書送付の宛先・住所が申込担当者と異なる場合は特記事項・要望欄にてお知らせください。

申込書記載の個人情報は MISA 個人情報保護規定に基づき運用いたします。本研修受講以外の目的に使用することはありません。